

令和6年度 ハッピーハート新大前 自己評価総括表

保護者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 保護者対象者数:36 回答:36

従業者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 従業者対象者数:9 回答:9

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性を理解し、環境作りや課題を準備して支援を行うこと。	一人一人の発達状況や将来的な目標に少しでも近づけるように課題を考えて提供している。	自事業所のみでの支援にとどまらずに、ご家庭、学校、関係機関等で同一方向の支援を考えていく。そのために必要な情報提供の場を積極的に発信していく。
2	活動プログラムを固定化せず、立案し実行している。	子どもの興味や関心を引き出し、経験値の高まりから自信につなげられるように取り組んでいる。また、5領域を意識して計画立案をしている。	将来的に必要な力を育むために、子どものライフステージにおける生活力を基盤にして、優先的に活動プログラムを考案していく。

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	保護者向けの集まりの支援、または研修会等の知識、情報を得る機会が少ない。	希望しないご家庭もあるため、保護者の集まる機会の積極的な提案をしていなかった。また、研修会などは都度、事業所玄関に掲示しているが、送迎希望の保護者が多く、全家庭に周知は難しい。	研修会の案内を事業所の玄関等に掲示することを継続する。また、可能であれば保護者も参加できる研修会や交流会を検討し、提案する。
2	地域住民との親しい交流が少ない。	大学周辺の立地条件から、学生のアパートや商業施設が多く、地域住民主体の交流イベントがほとんどない。また、イベントが開催されても日曜日、祝日のことが多い。	可能であれば、大学祭や地域のイベントに積極的に参加や見学、体験等できるように情報収集を行う。今後も地域の施設を訪れ、地域住民との関りをもつ機会を設けていく。